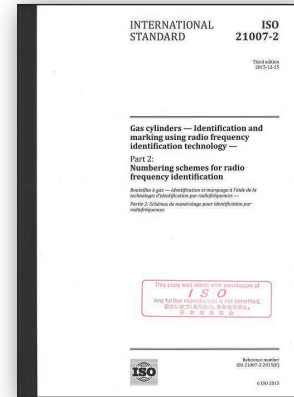


JIMGAのRFタグのフォーマットがISO規格になりました

JIMGAではISO/TC58国内委員会を通じて、JIMGAがRFタグに採用している固定長フォーマットをISO規格に取り入れるよう平成23年から取り組んできました。その結果、昨年12月に発行されたISO21007-2:2015（高圧ガス容器—無線自動識別技術を用いた識別と刻印—Part2:無線自動識別の付番方式）にて規格化され、JIMGAのフォーマットも参考規格として掲載されました。



ISO21007-2:2015

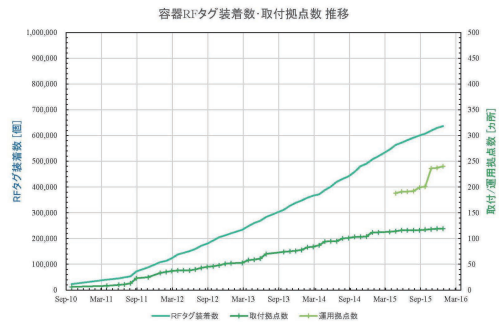
従来の規格（ISO21007-2:2013）では、周波数帯としてHF帯が、データ構造も可変長フォーマットのみが規格化されていましたが、2015年版では、最新のUHF帯の利用を前提に、JIMGAの提案したフォーマットIDとともに固定長フォーマットが規格化されています。

この規格化を機に、国内外の高圧ガス容器を使用するJIMGA以外の事業者にもRFタグが採用される可能性が広がりますので、容器RF運営委員会ではミドルウェアの改修など、普及拡大に向けた準備を行っています。

RFタグの普及状況

容器RFタグは、平成27年12月末現在で64万本の容器に装着され、全国で64社240拠点にて運用されています。

JIMGAは平成28年3月末において310万本の容器にRFタグを取り付けることを目標に、これまで普及に取り組んでまいりましたが、残念ながら目標本数の達成はかなわない見込みです。しかし、RFタグ導入のメリットは確実に理解されており、一定のペースで着実に普及が拡大しています。



容器RFタグの装着数等推移

RFタグ普及促進キャンペーンの終了について

平成26年10月より行っていたRFタグ普及促進キャンペーンは、予定通り平成28年3月31日をもって終了いたします。普及促進キャンペーンでは、残念ながらRFタグによる容器管理の飛躍的な普及は進みませんでした。

容器RFタグ運営委員会では、4月以降の新たな取り組みについて検討しておりますので、準備でき次第ご案内いたします。

平成27年度 容器RFタグ説明会の開催について

容器RFタグ運営委員会では、今年度も普及拡大に向けた説明会を各地域本部にて開催いたします。説明会では、導入された会員会社の生の声などもお届けします。

開催日程は右表のとおりです。皆様、どうぞ最新の情報をお聞きいただき、RFタグ導入の検討をお願いいたします。

平成27年度 容器RFタグ説明会 開催日程

地域本部	開催日	時間	会場
東北	(来年度開催)		
関東	3月4日	14:00~15:30	神田 エッサム本社 3階
東海	2月25日	14:00~15:30	オフィスパーク名駅カンファレンスセンター
北陸	3月7日	13:30~15:30	石川県地場産業振興センター 新館 5F
近畿	2月23日	14:00~15:30	大阪科学技術センター 700号
中国	(来年度開催)		
四国	2月18日	13:00~14:30	ホテルパールガーデン 2階 八栗の間
九州	(来年度開催)		

※詳しくは各地域本部にお問い合わせください。

(容器RFタグ運営委員会事務局 保坂 昭一)